

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: 野生生物担当
 内線: 3154

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B39	野生生物保護事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		宣言項目			
					分野施策	051247 生物多様性の保全		
1 事業概要			5 事業説明					
野生生物の生息数や生息地を適正なものとするため、生息状況等を調査するとともに、鳥獣保護管理事業計画や第二種特定鳥獣管理計画に基づき、野生生物の適切な保護管理を図る。 経費節減による減 (1)ガンカモ類の生息調査 △2千円 委託料の契約差金の発生等に伴う減 (2)特定鳥獣保護管理事業 △236千円 (3)カワウ広域保護管理事業 △1,304千円 (4)狩猟及び鳥獣出没情報の多層化事業 △2,841千円			(1) 事業内容 ア ガンカモ類の生息調査 生息状況調査 (県内160か所) 515千円→513千円 イ 特定鳥獣保護管理事業 県保護管理検討委員会開催、生息状況調査、放射性物質調査 26,617千円→26,381千円 ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域協議会参加、県協議会開催、生息状況調査 2,865千円→1,561千円 エ 狩猟及び鳥獣出没情報の多層化事業 鳥獣保護区等位置図電子化業務委託 4,679千円→1,838千円 (2) 事業計画 ア ガンカモ類の生息調査 環境省の方針に基づき毎年度1回実施 イ 特定鳥獣保護管理事業 鳥獣保護管理事業計画、第二種特定鳥獣管理計画の改訂 ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域保護管理指針に基づき、毎年度調査及び協議会を実施 エ 狩猟及び鳥獣出没情報の多層化事業 狩猟制限区域等の情報を電子化 (3) 事業効果 ア ガン・カモ・ハクチョウ類の冬季の生息状況及び渡来傾向、生息地等の基礎資料を得られる。 イ イノシシ・ニホンジカ等の個体群の安定維持、人と野生鳥獣との共生と被害防止対策の計画的な推進が図られる。 ウ カワウを絶滅させることなく、被害を減少させるために、隣接都県と連携した広域的な調査や対策を実施できる。 エ 電子地図は拡大縮小が可能のため、狩猟制限区域の正確な境界や様々な情報の確認ができる。 (4) 補正予算の概要 ア 委託料の契約差金の発生に伴う減額 △3,324千円 イ 会議開催数縮減による減額 △194千円 ウ 経費節減による減額 △865千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税 (単位費用) (区分) 林野行政費 (細目) 鳥獣行政費 (細節) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円								
予算額			財源内訳				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△4,383						△4,383	30,293
現計額	34,676						34,676	